



アナログ Nice!

校長 坂谷 陽

修学旅行 思い出ランキング -第1位- 瀬斗とのUNO

これは、2年生の修学旅行後に行った生徒の振り返りの中で、布川さんが学習シートに記したものです。行き帰りの新幹線内で、カードゲームに興じる生徒は意外に多かったのですが、ランキング第1位というところに小さな感動を覚え、私は、教室に掲示していた布川さんの学習シートに、自作のNiceシールを貼り付け、「……..惹かれました!」のコメント(付箋紙)まで残してしまいました。

デジタル世界に生きる生徒にとって、待ちに待った修学旅行とは言え、手元に機器なし、タップもスワイプもなしの3日間は、受け入れ難いかもしれません。でも、バッテリー消耗や通信料の心配がなく、時間無制限のアナログ・カードゲームは、どこかほのぼのしていて、独特な社交スペースを作ることができると考えます。

オンラインゲームでもプレイヤー間の関わりは生まれるのですが、プラスチックまたは紙のカードを手に、仲間と膝を交え、ゲームを楽しむ生徒の間には、必ず笑い声が響きます。そして、相手の強さを直接感じ取ったり、自分の弱さを素直に認めたり、また、ズルがあると厳しく指摘されるけれど、相手の目は笑ってる等々、勝負の相手同士なのに、ゲームの世界を一緒に作りあげ、居心地の良い時間を共有します。

「修学旅行中のカードゲームに、生徒の人間らしさが全開、融合する空間を見た。」は、言い過ぎでしょうか。



情報技術の発展は大変ありがたく、通信環境は日々向上し、スマホやタブレットなどを介して、様々な情報を手に入れ、世界中の人ともつながっている生徒は少なくないと思います。私はと云えば、それなりに機器は使用しますが、新聞や本をめくる時のカサカサ音やインク・紙の匂いからは離れられません。また、画面を通して行う“もの探し”“曲探し”より、お店に足を運んで選ぶ方が安心です。←ここは誰かにうなずいて欲しいところ

新幹線内のカードゲームにも、デジタル機器では味わえない良さがあると思うのです。

学校教育におけるICT活用は必要で、その推進は必須ですが、人工知能が学業をサポートしても、仮に完璧なAI教師が完成しても、人間による教育に取って代わることはないと思っています。なぜなら、良く教えること、良く学ぶことは、多くの情報を効率良く伝えて吸収させることではないと考えるからです。学びは、人と人との関係を通じて様々なことを知り得て、納得するか、疑問に思うか、それによって何処へ向かうかの連続で、あらかじめ規定したプログラム通りには進まない、すこぶるアナログな世界のはずです。

人間らしさ全開で、生徒と向き合い、丁寧に手間をかけ、安心感や充実感を実感させる東中教師でありたい。

あらためて、このように考えるきっかけを与えてくれた、布川さんの振り返りに感謝します。

最後に、誤解のないよう、本人がきっちりまとめた「修学旅行3日間で学んだこと」も紹介します。

- 1日目(移動・施設見学) → 班長には班員の行動を統括する責任がある
- 2日目(ディズニーランド) → 時間は有限である
- 3日目(浅草自由行動) → 何処に行くか、何をかうか、判断は素早く



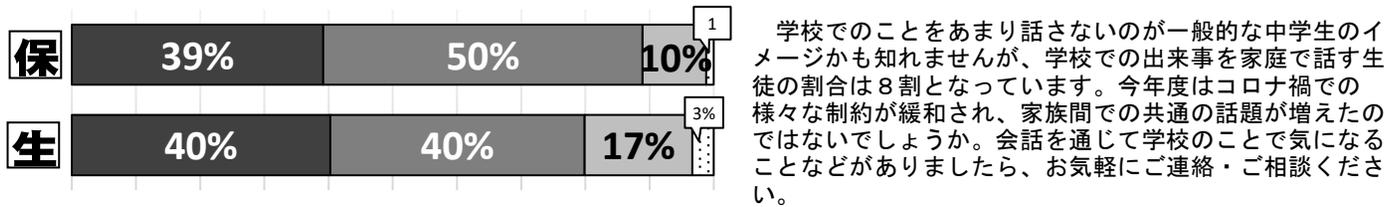
こちら、Niceです

令和5年度学校評価アンケートの結果報告

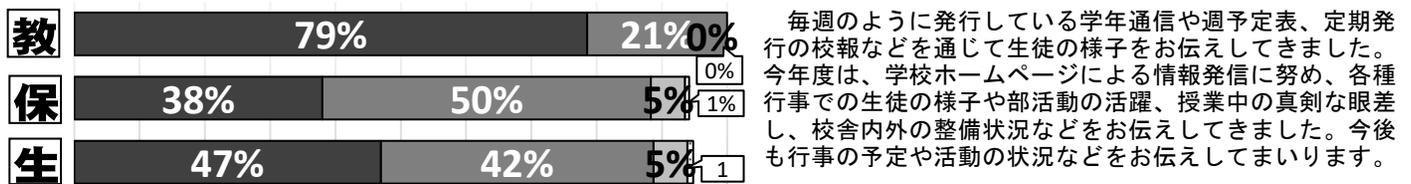
昨年11月から12月にかけて、本校教育活動の改善を目的とした学校評価アンケートを実施いたしました。保護者の皆様には、ご協力いただきありがとうございました。以下のグラフ等で、結果の概要をお知らせします。

※各項目のグラフとも、左側から4(よくある・思う等)、3(ある・まあまあ思う等)、2(あまりない・あまり思わない等)、1(ほとんどない・思わない等)の順に並んでいます。左側の色が濃い部分ほど肯定的な回答で、右側の薄い部分になるほど否定的な回答となります。
 ※0(わからない、無回答)はグラフ上に表示していないため、0の割合が多い場合はグラフが短くなっています。
 ※グラフ横にある「教」は教師、「保」は保護者、「生」は生徒を表しています。
 ※同じ質問を教師、保護者、生徒に行うことで、それぞれのとらえ方の違いが分かるようにしています。

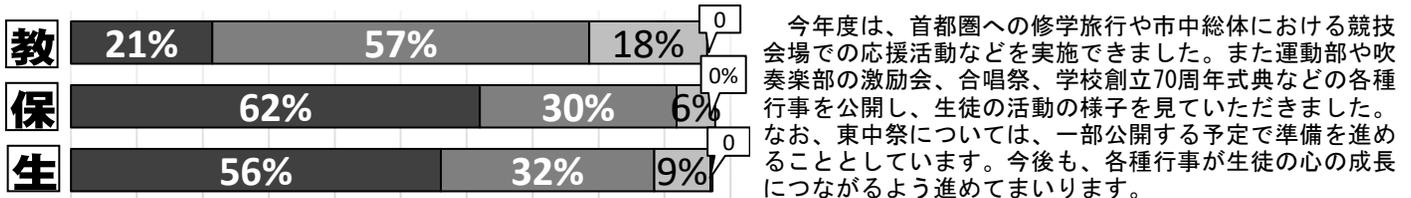
① 家庭の中で、お子さんと学校のことについて話し合う機会はありますか。



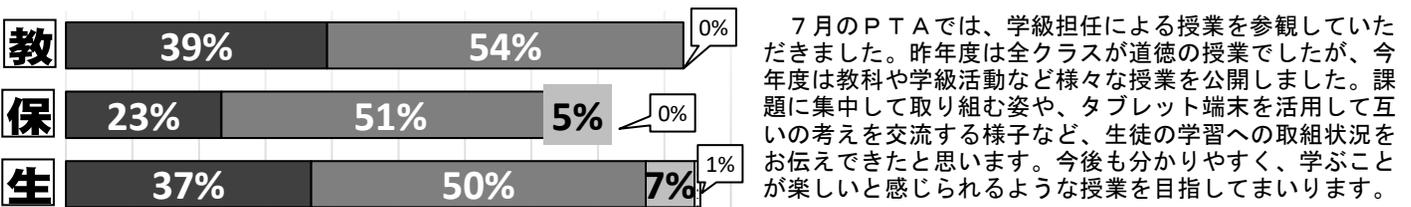
② 学校は、教育目標や現在の学校の取組について、校報や学年通信、PTA等の機会を通じて、みなさんに分かりやすく説明していると思いますか。



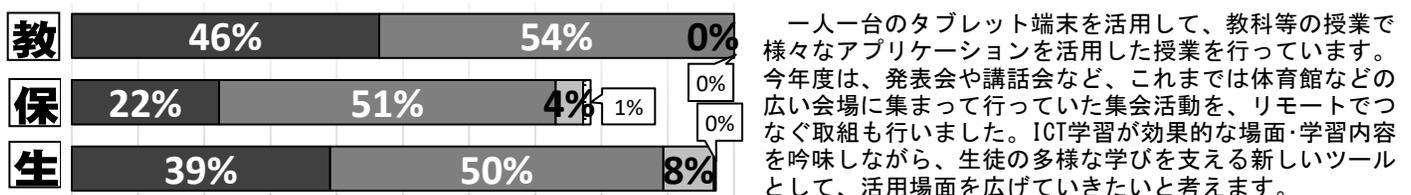
③ 新型コロナウイルス感染症の法律上の位置付けが変わり、今年度実施できた修学旅行、激励会、市中総体での応援、東中祭、合唱祭、学年スポーツレクなどの各種行事の進め方についてどう思いますか。



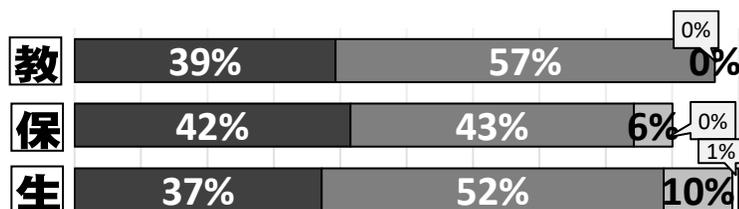
④ 学校の学習への取組、生徒が主役の授業、分かりやすい授業づくりは十分だと思いますか。



⑤ 学校では、一人1台のタブレット端末を活用し、積極的にICT学習を推進していると思いますか。

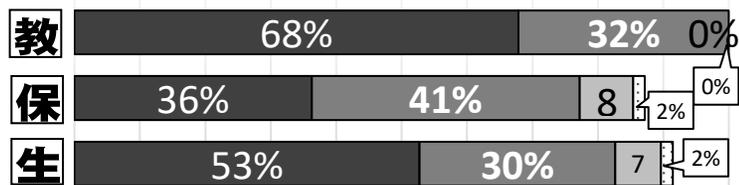


⑥ 学校では生徒に「立ち止まってのあいさつ」や「立腰」など「ひむがしの礼節」に基づく指導をしています。東中生の礼儀やマナーについてどう思いますか。



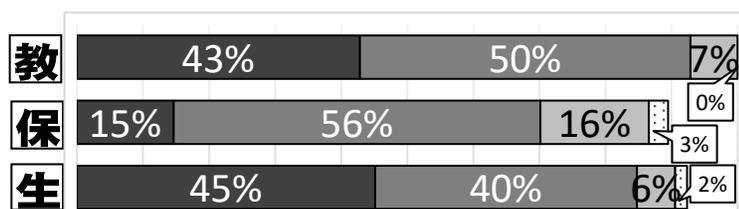
肯定的な回答が多く、東中生の礼儀やマナーについて教師・保護者・生徒ともに同じように感じていることがうかがえます。授業前後の「立腰」や「語先後礼のあいさつ」など、礼節に係る日頃の指導が定着してきていると捉えます。一方で、元気なあいさつを期待する声も寄せられています。今後も、地域に明るいあいさつを響かせる東中生を目指して、指導の充実に努めてまいります。

⑦ 先生方は、生徒の悩みに対して親身に相談にのっていると思いますか。



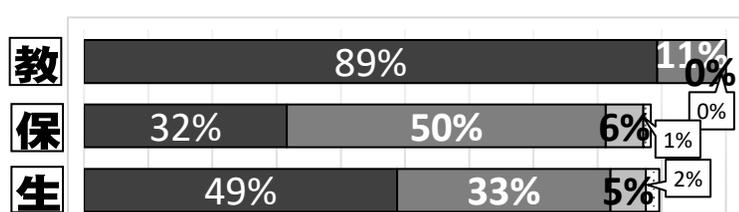
学級担任と生徒とのふれあいノートや二者面談、心の扉調査などを通して、心の変化の把握に努め、悩みや困り感に寄り添うことができるよう、日常の対話も大切にしています。アンケート結果を見ると、生徒の感じ方はここ3年間変わりませんが、保護者の評価は昨年度に比べて5ポイント向上しています。相談を通して生徒自らがどのようにしたいかを考えられるように、生徒の気持ちを尊重しつつ、保護者とともに支えてまいります。

⑧ 学校は、将来の生き方について、親子で話し合うための十分な情報提供をしていると思いますか。



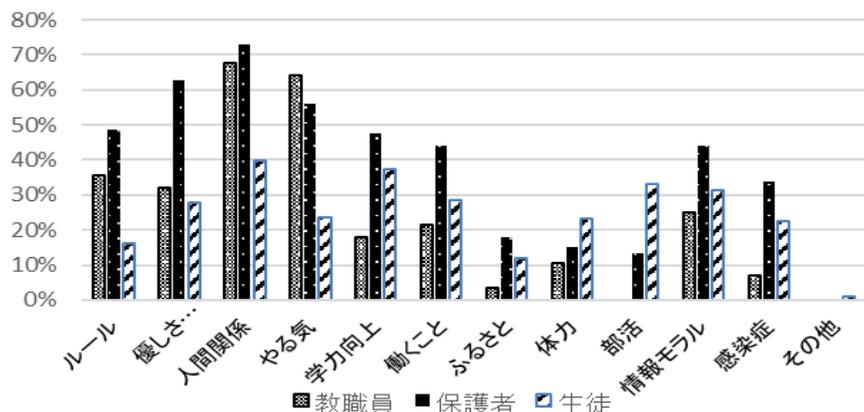
どんな自分になりたいのか、これからの社会や秋田をどう生きるかを、様々な出会いや体験を通して学び、自己実現の心を培うことを重視して指導しているところです。今後も、学級活動や特別の教科道徳、総合的な学習の時間など、3年間を通した学びの中で、自分らしい生き方や自分の将来像を思い描くことができるように、多様な情報や心に残る話題を提供してまいります。

⑨ 学校では、日常生活の指導や心の扉アンケートを通じて、いじめの未然防止・早期発見、解決に力を入れていると思いますか。



いじめは絶対に許されない行為であり、本校生徒の誰もがいじめのない学校生活を願っています。授業や集会等で未然防止の取組の充実を図っているところですが、軽い気持ちで始まるからかみや悪ふざけ、SNSを通じてのトラブルは今年度もゼロではありません。そうしたトラブルの際は、生徒や保護者の苦痛・不安を除くことを最優先に、丁寧な対応を大切にしています。今後も保護者の皆様と連携し、生徒が楽しく安心して過ごせる学校づくりに努めてまいります。

⑩ 学校の教育活動で、もっと力を入れて取り組んでほしいことはどのようなことですか。



- 1 ルールを守ることにする指導
- 2 優しさや思いやりに関する指導
- 3 人との人間関係に関する指導
- 4 自分でやってみようというやる気の指導
- 5 学力の向上
- 6 社会に出て働くことに関する指導
- 7 ふるさと秋田や身近な地域に関する指導
- 8 体力の向上に関する指導
- 9 部活動強化のための指導
- 10 タブレット端末の積極的な活用と情報モラルの指導
- 11 感染症予防や自分の命/健康を守るための指導
- 12 その他

『学校の教育活動で、もっと力を入れて取り組んでほしいこと』について、教職員、保護者、生徒の三者ともに、『人との人間関係に関する指導』を最も重視していました。コロナが収束する中で、他者とかかわる場面が増え、円滑な人間関係を築くスキルが求められるようになってきたことなどが背景にあると考えます。

教育目標にある『たくましく未来を切り拓く生徒』を育成するため、創立70周年の節目の一年を通じて学んだ「誇り」と「自信」を一層高め、生徒一人一人が主体的に生き方を考えられるよう、体験活動の充実や自己決定の場の設定、生徒が主役の分かりやすい授業の実践などに努めてまいりますので、今後も本校教育活動へのご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

学年毎の学習状況 と コラボノート

研究主任 工藤 治 幸

<3年生>

春に行われた全国学力・学習状況調査において、国語、数学、英語の正答率が全て秋田県平均を上回り、平日、土日とも家庭で2時間以上学習する生徒の割合も県平均を上回っていました。全体的に、学習に対する意識が高く、各教科の課題解決に主体的に取り組むことができる生徒が多いと考えます。高校等への進学後、大学進学や専門的な知識、技能の習得など、同じ目標をもつ新たな仲間との出会いが、学習への取組にも好影響を与えることでしょう。

<2年生>

冬に行われた県の学習状況調査において、数学、理科、英語は県平均を約3~5ポイント上回り、国語と社会は県平均に約2ポイント及びませんでした。全体的に授業中の発表が積極的である、来年度あるいは将来のことを見据えて努力している生徒が増えてきていると担当の先生方から聞きます。授業中の議論をより活発に行い、互いに切磋琢磨しながら、さらに知識、技能を高めていって欲しいと思います。

<1年生>

2年生と同様に行われた調査において、数学、英語は県平均を上回り、国語、社会、理科は、県平均を3~9ポイント下回りました。授業中の発表は2年生以上に積極的で、多様な意見が飛び交う教室の中で、学ぶ楽しさを味わっている様子がうかがえます。一方、個人でじっくり問題などに向き合って解決することや、家庭学習で自分の弱点克服に取り組むことなどについては努力を要すると担当の先生方から聞きます。この点については、今後の課題でもあると捉えています。

コラボノート って？

授業参観の際、下図のように付箋紙を貼り付けたような画面をご覧になった、または、お子さんからコラボノートという言葉聞いたという方がいらっしゃると思います。

	良くなかった点	良かった点
健	<p>第一と大輔にはっきりとものを言えないところ。朝顔でサッカーをしたこと。</p> <p>大輔につられて、サッカーをしてしまったところ。</p>	<p>一度できなかった「滑る」ということができたこと。</p>
大輔	<p>ガラスを割ったことを報告することよりもサッカーを壊していること。</p> <p>人のせいにして、窓ガラスを割ってしまったとき、ガラスのかけを必ずしも取ってしまっていた。責任感のある行動が本道に対して態度が悪い。</p>	<p>健の後に残ったこと以外すべて。</p> <p>健の後に残ったことだけ。</p>

このアプリケーションは、生徒が個人タブレットに記入した内容を一つの画面に表示して共有し、他の生徒への意見もタブレットから入力することができるもので、全ての秋田市立小・中学校に導入されています。

全体の前の意見発表には気が引ける場合でも、このツールを介して、賛成や反対の意見、自分なりの考えを表現できるよさがあります。本校では昨年度から各教科で活用し、生徒は操作にも慣れ、様々な場面で使用しています。

Good → Bad → Next

生徒指導主事 福山 健太

物事を振り返る際の順番は、「Good → Bad → Next」がよいそうです。そこで...

<Good(成果)>

学校行事等がほぼコロナ禍前に戻りました。中総体、東中祭、70周年記念式典、修学旅行と多くの行事を実施しましたが、生徒にとっては分からないことばかりでした。そのような中、話を大切にしなが、自分たちの力でよりよいものをつくり上げようとする姿が多く見られました。

また、後学期から実施したノーチャイムも成果です。年度途中ではありましたが、生徒の様子から十分に対応できると考えて実施したところ、戸惑う様子はほとんどなく、今まで以上に時刻・時間を意識したり、仲間と声を掛け合ったりする姿が見られました。例年以上に、自分の思いや判断を大切にしなが生活できた1年でした。

<Bad(課題)>

「軽い気持ち」「雰囲気」「乗り」で相手を傷付けていないか、自分の言動を見つめてほしいと考えます。もちろん、全生徒にです。「自分がされて嫌なことはしない」これは昔から言われている言葉ですが、万能な言葉ではありません。「馬鹿」と言われて平気な人、ものすごく傷付く人、さらには、言われた相手によっても受け止め方は異なります。相手の気持ちになって考えるためには、相手の気持ち、立場になりきる必要があります。でも、それは極めて難しいことです。言葉には、良くも悪くも、大きな力があることを十分に理解してほしいと願います。

<Next(次年度に向けて)>

<Bad>に記したことは、インターネット上においても当てはまります。そして、この改善には、保護者の皆様のご協力が不可欠です。今年度の調査では、「LINEやInstagram等のコミュニケーションアプリを利用している生徒」は84.5%と、多くの家庭で他との通信を許容している状況です。ところが、「利用する上でのルールを家の人と決めている」生徒は69.6%であり、1年(83.6%)⇒2年(63.6%)⇒3年(61.8%)と、学年が上がるとつれてその割合が低下しています。

学校では、学級指導や学年集会の機会を通じて、インターネット情報の効果的な活用や、SNS利用のあり方について指導しておりますが、保護者の皆様におかれましては、「機器を持たせた親の責任」のもと、特にSNS利用の状況について、時間や場所を制限するだけでなく、どのようなアプリを使い、どのような人と繋がり、どのような書き込みをしているのかまで、もう一歩踏み込んだ管理と助言をお願いします。

来年度も、教職員全員目と心で、生徒全員の心を育てたいと思います。今後とも、保護者や地域の皆様のご理解とご支援をお願いします。

自分自身と向き合う作品制作

美術部顧問 佐藤 廣子



令和5年5月に新型コロナウイルスが5類に分類されたことで、様々な活動への制限が撤廃され、生徒たちが生き生きと活動できるようになりました。6月の秋田県美術展覧会(県展)では、初めて制作に取り組んだ1年生を含めて、多くの生徒が入選することができました。太平山三吉神社の写生会も昨年同様、活発に制作に打ち込むことができました。

12月末には勝平中学校美術部と合同でアトリオン2階展示ホールで展覧会を開催することができました。以前と同様の開催ができたことで、自分たちで展覧会を行うことの充実感を味わうことができました。また全国規模の全日本学生美術展へ作品を出品し、2名が推奨を受賞、1名が佳作に選出されました。

1年間の活動を振り返ると、これまで描いたことのない大きなキャンバスに向かい、これまでやったことのない表現技法に挑戦して、迷い、悩みながらも日々前進していく美術部員の姿が見られました。

造形活動は自分の中の表現したい心と向き合うことと考えます。そして表現を広げていく中で、新しい自分と出会い、心を豊かにしていく活動であると思います。来年度も、生徒たちが、まだ出会っていない自分と向き合い、さらに成長していってくれることを期待しています。



ご来場ありがとうございました

東中サウンドの進化、深化、真価

吹奏楽部顧問 山内 和幸

今年度は、新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、コンクール等での演奏が約5年前と同様の活動となりました。よって、部員にとっては初めてのことも多く、試行錯誤しながらの日々でした。

市中総体では、屋内外の試合会場で応援演奏を行い、選手や応援団を後押しすることができました。吹奏楽コンクールでは、目標には届きませんでした。猛暑の中練習を続け、その成果を存分に発揮することができました。合唱祭前のステージと定期演奏会では、来賓や保護者の皆様、生徒や先生方、卒業生の先輩方の前で演奏を披露し、たくさんの温かい拍手をいただくことができました。

3年生引退後、1、2年生は先輩方の思いを受け取り、自分たちの課題を見つめて練習に励んでいます。旭川地区の祭や小学校での演奏機会もあり、地域の方や小学生にも喜んでいただくことができました。大会等での結果も大事ですが、本番に至るまでの過程やチームとしての成果と課題をその都度確認しながら、歩みを進めています。

今後もたくさんのステージで「進化した東中サウンド」を届けられるよう、日々の活動を大切にしていきたいと思えます。





12ヶ月間を振り返って

科学部顧問 高橋 一雄

4月の部活動紹介では、熱気球の実験を披露しました。予備実験では上手に上がったのですが、当日は気温が上がりすぎてちょっとしか上がりず残念でした。5月は、紙飛行機大会をしました。また、畑を耕して、ミニトマトとキュウリとオクラを植えました。6月は、応援委員として、中総体で全校応援を頑張りました。3年ぶりの試合会場での応援でしたが、全力を出し切ることができました。7月は野菜の収穫が最盛期でした。とれたてのキュウリとトマトは美味しかったです。8月は、アルヴェでワークショップに参加し、人エイクラと時計反応の実験を一般の方に披露しました。また、中学生モデルロケット大会に参加し、「みりん70ml」チームが6位に入賞しました。9月は、学校祭と秋田市児童生徒理科研究発表会の準備でとても忙しかったです。学校祭では、今までに取り組んだことのない実験にも挑戦し、生徒たちは学校祭をやり遂げた達成感を自信につながられたと思います。10月の個人研究を経て、11月には、秋田大学で行われた、秋田県児童生徒理科研究発表大会で「坂道を転がる筒の速さの研究」の発表を行いました。12月は、食品サンプル作りとプラネタリウム作りに挑戦し、1月は、モチ米に圧力を加える実験をしました。出来たお餅は、4種類の薬味で美味しくいただきました。2月は、落花生の自由落下の実験を行いました。ゴムを使って落花生を遠くに飛ばす装置をつくりました。3月は、ライトプレーンを作り、部内大会を予定しています。これからも、ワクワクドキドキするような活動をしていきたいと思ひます。



～お知らせ～

秋田東中学校の校報は、学校ホームページでも公開しております。

ホームページ版では、各種大会等の記録も掲載しております。

行事予定や生徒の活動のようすも公開しておりますので、どうぞそちらもご覧下さい。

秋田東中学校ホームページアドレス (URL)

<https://www.fureai-cloud.jp/akita-akh-c/>



部活動・各種大会等の記録

- 第37回 秋田県ジュニア新体操選手権大会(11/5)
女子Cクラス 個人総合 第1位 ボール 第1位 クラブ 第2位 小玉

- 第22回 こまち杯バタフライチームカップ中学校卓球大会(12/9)
男子団体 第2位

- 第46回 秋田県アンサンブルコンテスト中央地区予選(12/16)
サクソフォン4重奏 銀賞
金管8重奏 金賞(秋田県大会出場)

- 第46回 秋田県アンサンブルコンテスト(1/13)
金管8重奏 銀賞

- 令和5年度 児童生徒作品コンクール 書道の部 優良賞 門間 書道の部 佳作 佐良土

- 令和5年度 中学生の「税についての作文」
 - ・秋田県納税貯蓄組合連合会会長賞 吉田
 - ・秋田南税務署長賞 鎌田
 - ・秋田南地区納税貯蓄組合連合会会長賞 高畑
 - ・秋田南地区納税貯蓄組合連合会 優秀賞 西川

- 第64回 秋田県児童生徒美術展
 - 【平面の部】入賞 佐々木 森川 佳作 牧 中川 北島 矢野 佐々木 山本 佐々木
 - 【立体の部】入賞 小玉 原田 佳作 望月 宇佐美 渡邊

- 第36回秋田県中央地区ソロコンテスト(2/4)
中学校木管・弦楽器の部 優良賞 齋藤
中学校打楽器の部 優秀賞 笹川

- 第68回 全日本学生美術展
推奨「化け物」村上 「微生物」鎌田
佳作「マリン」 牧

- 令和5年度東北電力杯争奪Jr. ユースフットサル大会(2/10)
秋田東A 優秀選手賞 船木 秋田東B 優秀選手賞 金

- 第6回美郷チャレンジカップU14フットサル大会(2/23)
優秀選手賞 小野寺 宮腰